

さて、人の体は約六十兆個の細胞で構成され、それらは神経細胞など一部を除いて約六七七年でほとんどが入れ替わると言われています。しかし、細胞が入れ替わっても、私たちは以前と同じ顔をし、体格や性格も大して変わらないものであります。それは、DNAに組み込まれた遺伝情報を基に、前の細胞と同じ働きをする新たな細胞が作られ、入れ替わるからだと言われています。

それに似て、中高一貫の本校も、六年周期で数百人という生徒諸君がすべて入

本校は名実ともに新設校の域を脱し、今まさに、独自の伝統を築き上げつつあるところです。

ごあいさつ

— 築きつつある伝統 —

学校長 森田 真康



今年、学校創立から十二年目を迎え、本校は名実ともに新設校の域を脱し、今まさに、独自の伝統を築き上げつつあるところです。

さて、人の体は約六十兆個の細胞で構成され、それらは神経細胞など一部を除いて約六七七年でほとんどが入れ替わると言われています。しかし、細胞が入れ替わっても、私たちは以前と同じ顔をし、体格や性格も大して変わらないものであります。それは、DNAに組み込まれた遺伝情報を基に、前の細胞と同じ働きをする新たな細胞が作られ、入れ替わるからだと言われています。

そこで、私はとても誇らしく感じるのですが、「聖心学園の生徒は礼儀正しく、きちんと挨拶ができるし、電車の中でもマナーがよい。勉強もしっかりと」と「大切なこと」などという安易な気持ちを抑え、何事にも正面から物事にぶち当たることが大事だと思います。「本物の真面目はカッコいい」のです。德育の真髓もここにあります。

もう一つは「勉強もしっかりといるらしいな!」などと、知人から聞くことがあります。生徒が入れ替わっても変わらずにもち続いている本校生の姿こそ、築きつつある本校の伝統であり、先輩から後輩への贈りもの、今後も受け継がれ続ける本校のDNAなのではない

ご着任いただいた先生方 (四名)

○ 西本望見先生 担当教科 (国語)

○ 光川友太先生 担当教科 (英語)

○ 若井理恵先生 担当教科 (数学・情報)

○ 山本英未先生 担当教科 (英語)

○ 田中七菜書 選定

担当教科 (数学・情報)
担当学年 (二年)
以上

◎教職員の異動

ご退任された先生方 (三名)

○ 竹中三郎先生 担当教科 (英語)

○ 内田大貴先生 担当教科 (国語)

○ 岡本正昭先生 担当教科 (数学)

○ 岩本正昭先生 担当教科 (数学)

○ 内田大貴先生 担当教科 (国語)

○ 岩本正昭先生 担当教科 (数学)

○ 岩本正昭先生 担当教科 (数学)

* 岩本先生には二十六年度も非常勤講師としてご指導いたしました。

ただくことになっています

どうか、第二世代の生徒諸君には、「礼儀正しさ」と「学習への直向性」をしっかりと身に付け、本校の築きつつある伝統に一層の磨きをかけてくれるよう期待します。

聖心学園中等教育学校
学校通信「たけのこ」

第一号

発行 聖心学園中等教育学校
平成二十六年五月二十九日発刊

題字 田中七菜書

礼節誠実勇気創造

今はあどけない生徒たちが、タケノコのようにすくすく育ち、しなやかでまっすぐな竹に成長してくれることを願って、学校通信を「たけのこ」と名付けました。

1. 築きつつある伝統	P1
2. 教職員の異動	P1
3. 新着任先生方の紹介・入学式	P2
4. 離着任式・始業式・対面式	P3
5. 新入生歓迎会	P3
6. 宿泊研修	P3・P4
7. 体験の日	P4・P5
8. 遠足	P5・P6
9. 環境美化部	P6
10. 育友会新役員紹介	P6



平成26年度入学式

新着任先生方の紹介

本年も四名のフレッシュな先生方が
聖心ファミリーに加わっていただきました。



西本望鬼先生

初めまして、四月に着任いたしました。五年生の学年係と古典芸能部の副顧問をさせていただいております。私はコーラスが好きで、小学校の児童合唱団から始まり、大学まで続けていました。これほど長く続けられたのは、人前で話すことが苦手だった私が、幼いころ発表会で、自分の声を人に伝えることができたという感覚が鮮明に心に残っているからだと感じています。また、中高時代を振り返ると、受験勉強がうまくいかない日も変わらずにある自分の居場所に随分と救われました。みなさんに「形は違えど、「自分が好きな自分であることを」を原動力に、勉学に励んでほしいと思います。これからどうぞよろしくお願ひします。



光川友太先生

はじめまして。今年度の四月からこの聖心学園で働くことになった光川友太と申します。担当教科は英語で、三年生の学年係とバスケットボール部前期課程の顧問をしています。趣味はスポーツで特にバスケットとサッカーをすること、映画を見ること、そしてギターを弾いて自己満足で歌うことです。

この学校が最初の学校ということもあり、わからないことだらけでしたが、とても優しい先生方の指導と助けを得て楽しく頑張っています。こんな素晴らしい先生方がいる学校で学んでいる生徒のみんなは幸せ者です！また素直で元気な生徒のみんなと楽しく授業ができるわたしも幸せ者です！わたしも早く先輩の先生方のようにみんなから頼られる先生になりたいと思うので、これからもよろしくお願ひします。



山本英未
先生

英語科担当の山本英未です。一年生の学年係と筝曲部の副顧問をさせてもらっています。小学生の頃、友達と名前の由来の話を聞いて、「私は英語を未来に伝えるから英未っていうんだよ」と適当に考えて話していました。私が趣味と呼べるほどのめりこんでいることはないのですが、高校生の頃からお気に入りの海外ドラマや映画を何回も観て最終的には字幕なしで観るということが好きでした。また高校生の頃、勉強で疲れた時には放課後に誰もない教室で友達と洋楽を歌つて気晴らしをしていたということもあります。好きなことをずっと続けていくと、それは気づかぬうちに自然と自分の力になつていてということがあります。皆さんにもこれから様々なことを経験する中で自分の好きなことを楽しんで続けていてもらいたいです。これからどうぞよろしくお願いします。



平成二十六年度
十二期生 入学式

二十六年度 入学式
十二期生 六十一夕

平田静太郎理事長先生、中澤弘一
園長先生をはじめ多数の来賓の皆様
と新入生の保護者の皆様方のご臨庭
を得て、本校職員と新二・三年生の
在校生が見守る中、六十一名の新入
生は森田眞康校長先生より入学の許
可を受け、本校の十二期生として新



初めまして。四月から着任いたしました若井理恵と申します。担当教科は数学と情報で、二年生の学年係と書道部の顧問を担当させていただいている所です。

り、今では念願の数学の教員になる
ことができました。

生徒のみなさんに言いたいことは、
将来は自分次第で変わっていくとい
うことです。あのとき諦めていたら、
今の私はありません。勉強を辛く感
じるときもあると思います。でもそ
の勉強は、意味のないものではなく、
必ず自分の夢や将来の可能性に繋
がっています。みなさんの成長の瞬
間に立ちあえることをとてもうれし
く思っています。一年間、よろしく
お願いいいたします。

式場内の盛大な拍手に迎えられ、緊張した面持ちで入場した新入生も、入学許可の呼名では大きな声で返答し、代表で宣誓を述べた一組の金子聖君も落ち着いた態度で誓いの言葉を述べ、それぞれが本校での初めて

のつとめを立派に果たしてくれました。新入生の諸君には、今日のこの感激を忘れることなく、森田校長先生が式辞で述べられていましたように、新しい友との出会いを大切にしながら、あらゆるものすべての人に感謝の心を忘ることなく、高い志を掲げて努力していくことを願っています。

離着任式・始業式・対面式

新しい出会いを大切にしよう!

四月四日、体育館では全校生徒が集まる中、離着任式、始業式、対面式が挙行されました。

離着任式では、まず始めに校長先生から、このたび離任されることになった竹中三郎先生、内田大貴先生、岡本正昭先生のご紹介がありました。先生方には、「在職期間に長短の違いこそあれ、個性豊かに本校教育のためにご尽力いただきあらためて心より感謝申し上げたい」と思います。先生方のますますのご健康とご活躍をお祈り致します。

続いて、本年度着任される四名の先生方、西本望見先生（国語）、若井理恵先生（数学）、光川友太先生（英語）、山本英未先生（英語）のご紹介があり、代表して光川先生から生徒達へ、着任のご挨拶がありました。若くてフレッシュな先生方には一日も早く本校での生活にとけ込んでいただき、新風を吹き込んでくださることを願っています。

また始業式では、森田校長先生よりそれぞれの学年に対して励ましと

期待の言葉が述べられるとともに、いくつかの例を引き合いに出され、チャレンジ（挑戦）することの大切さを訴えられ、生徒達は気持ちを新たに引き締めながら聞いていました。

また、式後に発表された担任の先生、学年係の先生のお名前一人一人に、生徒達の素直な反応が表れ、少しほやかな雰囲気に包まれる場面もありました。

最後の対面式では副校长先生のお

話のあと、新入生と在校生が向かい

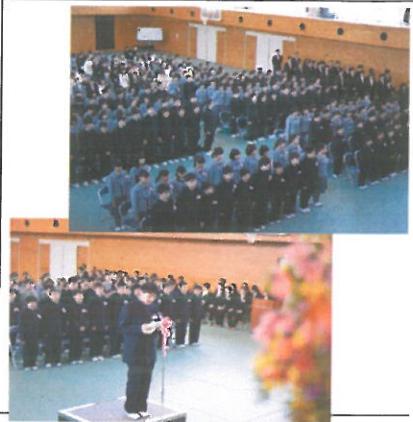
合い、初めてのご対面です。在校生

を代表して三年生の川本一貴君より

歓迎の言葉があり、新入生を代表し

て岸智大君からお礼の言葉が述べられました。そして在校生代表より一年生の各クラスの代表に花束が贈呈されました。新入生の各クラスの出

会いは一生の宝です。これを機に同窓生としての強い連帯感と厚い友情が、きっと生まれることでしょう。



六十一名の新入生（十二期生）を歓迎する集いが、
前期課程（二・三年）の生徒達によつて
四月九日（水）、本校体育館で実施されました。

●新入生歓迎会

放送委員である三年生の石黒くんと浜田さん、大谷内さんと白毛さんの司会により進められたこの集いで

は、副校长先生のご挨拶のあと在校

生を代表して三年生の兵頭環さんよ

り歓迎の言葉が述べられ、必修クラ

ブや十三の部活動の代表者が次々に

趣向を凝らしながら演技を披露し、

新入生に活動の一端を披露しました。

また、クラブ紹介の合間に、大和

郡山の記憶力大会に出場した三年生

の下田隆太くん・西本匠海くん・福

井聖人くんが「世界の神話の神々」

の名前を暗誦してみんなを驚嘆させ

ていました。最後に、新入生を代表

して一年生の植村仁恵さんがお礼の

言葉を述べて、歓迎会が終了しまし



クラブ紹介（創作ダンス部）

後期課程（第四学年）

宿泊研修

後期課程（第四学年）

宿泊研修

前期課程を卒業し、新たに高校生としての自覚と集団生活の再確認を促すため、本校恒例になつております「後期課程宿泊研修」を、四月二十一日（月）から二十二日（火）までの一泊二日の日程で実施しました。

雨が心配される中、四年生徒九十

名が樺原神宮中央口からバス二台

に分乗し、一路「国立曾爾青少年自然の家」（宇陀郡曾爾村太良路）まで

約一時間半の道のり。



国立曾爾青少年自然の家にて

バドミントン部



クラブ紹介
剣道部



剣道部

前期課程を卒業し、新たに高校生としての自覚と集団生活の再確認を促すため、本校恒例になつております「後期課程宿泊研修」を、四月二十一日（月）から二十二日（火）までの一泊二日の日程で実施しました。

雨が心配される中、四年生徒九十

名が樺原神宮中央口からバス二台

に分乗し、一路「国立曾爾青少年自然の家」（宇陀郡曾爾村太良路）まで

約一時間半の道のり。

翌日のメインは野外での焼きそば作り。雨も上がり、森林に包まれた中での調理と食事はまた格別な雰囲気でした。薪割りからはじまり、後片付するまでの分担作業は、生徒個々の性格などを観察する上で又とない機会でした。最後の片付でお玉が見つからず、みんな必死で探した結果、ゴミ袋からの発見には、みな唖然となりました。昼食後は、「びょうぶルームでの反省会。グループに分かれて「四学年の良い点と、改善点」という超真面目なテーマに、みんな

入所式終了後、慌ただしく着替え、早速ガイドダンスの始まりです。副校长・山下（教務）・松永（生徒指導）の各先生より、昼食を挟んでの約二時間、高校生としての自覚と前期課程とは異なる様々なルールや規則等をご指導いただきました。午後一時半からは小雨降る中、山にフイールドワーク。夕食後は、「集いの広場」での楽しい交流会。キャンドルサービスやゲーム、みんな一つの輪になつての踊り、笑顔がこぼれ本当に楽しそうでした。



「焼きそば」作り
と
フィールドワーク

真剣に討論。その姿に、「この子ら、やる時にやるやん⁽¹⁶⁾」と、教員側が感激。十四時半には「集いの広場」で添上高校生（一年）や中国からの研修生と一緒に退所式を行い、一路、家路につきました。

新入生宿泊研修

豊かな自然の中で育んだ友との絆

本校に入学して間もない四月二十四日（木）から、新入生六十一名は休暇村近江八幡で行われる二泊三日の新入生宿泊研修に全員そろって参りました。

神秘的な雰囲気の中で、ファイアーアーチの井桁に火をつけ、各クラスで練習してきた歌とダンスのパフォーマンスの交換やビンゴゲームなどをみんなで楽しみながら過ごしたひとときは、きっとみんなの心にいつまでも残ることでしょう。

体操を行い、朝食をいただき、部屋の掃除を済ませ、ホールに入つてテニスマッチ別学習のレポートを仕上げました。それから三日間お世話になつた宿泊の前の湖畔沿いのゴミをみんなで集めました。昼食後退所式を行ひ、所期の目的を達成して予定通りの時



自分たちで作った
カレーを食べて大満足

体験の日（前期課程）

初夏を思わせる日差しを受けて
去る四月二十五日、前期課程各学年が教室を飛び出し
平成二十六年度第一回体験の日を実施しました。

“布引ハーブ園”とテーブルマナー

校外に出る時はいつもココからスタートです。権原神宮前駅中央口からバスで約二時間、六甲山麓でロープウェーに乗り換え山頂駅を目指しました。眼下に布引の滝を見下ろしつつ後方に目をやると神戸の港が広がり、波がきらきら輝いています。頂上駅に着くとハーブの香りがいっぱいに広がっていました。

はやる気持ちを押さえつつ、まずはクラス写真を撮りました。その後は

天候にも恵まれ、それぞれの班で、ハーブの香りを楽しんだり、足湯に浸かったり。またあるグループは広場で鬼ごっこで駆けまわったりと、思い思いにひと時を過ごしていました。そうこうしているうちにこの日のメインプログラム、テーブルマナーの時間になりました。中間駅から下りロープウェイに乗り、六甲の麓で、山並みをバックに聳え立つ

お楽しみの班行動で園内散策です。天候にも恵まれ、それぞれの班で、ハーブの香りを楽しんだり、足湯に浸かったり。またあるグループは広場で鬼ごっこで駆けまわつたりと、思い思いにひと時を過ごしていました。そうこうしているうちにこの日のメインプログラム、テーブルマークの時間になりました。中間駅

校外に出る時はいつもヨコからスタートです。権原神宮前駅中央口からバスで約二時間、六甲山麓でロープウェーに乗り換え山頂駅を目指しました。眼下に布引の滝を見下ろしつつ後方に目をやると神戸の港が広がり、波がきらきら輝いています。頂上駅に着くとハーブの香りがいっぱいに広がっていました。

はやる気持ちを押さえつつ、まずクラス写真を撮りました。その後は



布引ハグロ園にて



布引ハグロ園にて



在引入一ゴ園にて



テーブルマナー講習
ANAクラウンプラザホテル神戸にて



ANAクラウンプラザホテル神戸に向かいました。生徒達の予想を超えていたのか、館内に入ると子供たちの表情が少しこわばっているようにも見えました。

マナー講習が始まると、係の方からテーブルマナーの歴史をはじめ、着席方法からナイフ・フォークの持ち方などの説明を聞きながら、運ばれてくる料理を口に運んでいました。

初めこそ緊張していたもののスープが運ばれる頃には雰囲気も和らぎ談笑する余裕を見せながらコース料理に舌鼓を打っていました。

また、この日は、プロ野球・東北楽天ゴールデンイーグルスの選手たちが宿泊中で、この日京セラドーム大阪で開催されるオリックスバファーリー

A NAクラウンプラザホテル神戸に向かいました。生徒達の予想を超えていたのか、館内に入ると子供たちの表情が少しこわばっているようにも見えました。

マナー講習が始まると、係の方からテーブルマナーの歴史をはじめ、着席方法からナイフ・フォークの持ち方などの説明を聞きながら、運ばれてくる料理を口に運んでいました。

初めこそ緊張していたもののスープが運ばれる頃には雰囲気も和らぎ談笑する余裕を見せながらコース料理に舌鼓を打っていました。

国立近代美術館・ 京料理「六盛」 平安神宮と 和食の作法



ローズ戦に備えて、隣の部屋で昼食を摂っていました。お手洗いのため中座して廊下に出た生徒がそれに気づき、席に戻つて友達に耳打ちした為、急にみんながそわそわしました。

マナー講習を終えて帰校準備をしている時、廊下で楽天の選手の姿を見つけ、日頃テレビなどでもしか見ることのない選手を間近に見て興奮し、あまりの体格の違いに驚き感動していました。生徒達にとって、このサプライズが一番の思い出になつたのかもしれません。

三年生の第一回体験の日は、恒例の京料理「六盛」での和食テーブルマナーです。二〇一三年十二月に和食は世界無形文化遺産に登録されました。事前の学年集会で後藤先生より和食の特徴や登録までの動きについて事前指導をしていただき当日をむかえました。



京都「六盛」で和食作法を学びました

遠足 (後期課程)



「もくもくファーム」で 心身ともにリフレッシュ

理長の説明を緊張した面持ちで聞き入っていました。和食の成り立ちから始まり、マナーの意義、靴の脱ぎ方や座布団への座り方など細かい所作の説明の後、食事をしながらお箸の扱い方や吸い物、お刺身のいただき方などを説明していました。

講習の最初に、食事に同席した人の美しい食べ方がお料理をよりおいしくする。人にやさしく、思いやりの心で食事することで、みんなで最後まで楽しく食事できるのだというお話がありました。そうした周囲への気配りの気持ちをこれから的生活に生かしてほしいと考えています。

四学年は、今年の十一月二十七日から十二月六日までの十日間、スペイン・フランス・オランダ方面への修学旅行を実施するにあたり、その気配りの気持ちをこれから的生活に生かしてほしいと考えています。

修学旅行事前研修 志摩スペイン村



四学年は、今年の十一月二十七日から十二月六日までの十日間、スペイン・フランス・オランダ方面への修学旅行を実施するにあたり、その気配りの気持ちをこれから的生活に生かしてほしいと考えています。

到着後、全員でスペインの名物料理である「パエリヤ」の調理実習。シェフから手ほどきをうけた後、各グループで調理体験をしました。簡単そうで意外とデリケートな料理で、中にはスープを勢いよく混ぜて白煙

からおうと、四月二十五日(金)、二台に分乗し「志摩スペイン村」を訪れました。

館ではアルタミラ洞窟が再現されたり、スペインの世界遺産や歴史風俗など、展示や映像で学習することができました。

食事後は、園内の自由散策。博物館ではアルタミラ洞窟が再現されたり、スペインの世界遺産や歴史風俗など、展示や映像で学習することができました。



志摩スペイン村「バルケエスパニョーラ」

ネコネとこねて、はじめは躊躇していた手も段段と豪快になつていきました。そのミンチを本物の豚の腸に詰めていきます。適当な長さに結んでいきワインナーを一つずつ丁寧に作っていました。体験は一時間半で終了しあつという間でした。出来上がり後、ボイルしその一つを試食しました。あまりの出来栄えに「おいしいー」の連発。残りは家人にお土産となりました。それから、バスの出発時間までゆっくり足湯をするもの、お土産を見るもの、ゆづくり友達とおしゃべりするものと本当に生徒も先生達もみんなリフレッシュできた一日となりました。

6

春の京都を満喫、かつ行きたい大学を訪れる

去る四月二十五日、第六学年の遠足が実施されました。生徒たちにとつては、学年で出掛ける最後のイベントです。今年は例年に比べ大幅に内容を変えまして、「春の京都を満喫、かつ行きたい大学を訪れる」というコンセプトで、目的を①大学受験を間近に控え、京都にある大学を見学し、意識向上させる。②春の京都を訪れ、京都固有の歴史や文化を体感する。③行程を自ら計画し、最上級生とし、生徒が主体となつた一日でした。

私は大学のキャンパスを三つ訪問しましたが、体力的にそれが限界でした。あらためて、生徒のアクティビティをタフさに感心させられました。また、子どもたちに自分たちで計画させて



もくもくファームにて



我々教師が用意したことは、九時三十分京都駅集合、十五時三十分京都駅集合の二つだけです。遠足のメイクの行程は生徒一人一人のオリジナルです。行きたい観光地、大学、寺社等を考え、電車、バスの乗り継ぎ、時間などを組み込んで行程を作成します。嵐山へ行き、途中に大学に寄り、清水寺に向かつたグループもいました。おいしいものを求めて食べ歩いたグループもあつたようです。大学のキャンパスには、生徒それぞれ少なくとも一つは訪問しており、ちょうどこの春入学した一回生の多い時期と重なつていたので、活気のある

環境美化部の活動として、毎月一回安全点検の日を設け、各クラスの環境美化委員が担当場所の清掃用具の点検や自教室の器具の破損などを点検しています。

■育友会総会■	
☆会長	能瀬 美穂
☆副会長	小泉 益美
☆書記	栗原 実紀
☆会計	岸 香陽子
☆監事	岸谷 由華子
☆地区委員	○松本 千佳子・松本 里美
☆美化委員	○住吉 祐香・安田 敦子
☆進路委員	○鷲尾 小西 宏子・今中 容子
○松下 美香・今中 容子	○高垣 真弓・葛本 民恵
○松下 美香・今中 容子	○植野 和美
○小西 宏子	○高垣 真弓・葛本 民恵
○長井 智美	○佐和子・松下 美香
○田中美佳	○佐和子・松下 美香
○平井 貴子	○佐和子・松下 美香

環境美化部



行動させてみると、我々大人が思っているより上手だということと、生徒が主体となって行動することは生徒の教育活動において最も重要なことの一つだということがわかりました。あの生ききた顔は忘れることができません。

大学受験まであと八か月ほど。生徒が主役です。自分たちが主体となつて数々の壁を自分で乗り越え、来年の春は大学のキャンパスで生き生きとした笑顔を見せて欲しいです。

大学受験まであと八か月ほど。生徒が主役です。自分たちが主体となつて数々の壁を自分で乗り越え、来年の春は大学のキャンパスで生き生きとした笑顔を見せて欲しいです。

球根が、今年四月綺麗な花を咲かせています。花の水遣りをした後の充実感や、「きれいな花を咲かせてほしい」、「花と触れ合うことで心が和む」といった気持ちを育てています。環境美化部は、今後も校舎内外の環境保持を行うことで、生徒に備品管理や奉仕活動の一端を学んでもらい、自發的な清掃意識の確立を目指して行きたいと思います。



見違えるほどきれいになりました

